

記事のタイトルをクリックすると、当該記事のホームページに遷移します。 ※ページがない場合は、遷移しません。

Nerima ねりま 区報

➔ 4/11 令和8年(2026年)

第2112号 毎月1日・11日・21日発行

発行/練馬区 編集/広聴広報課

〒176-8501 豊玉北6-12-1

☎03-3993-1111 (代表)

FAX 03-3993-1194

https://www.city.nerima.tokyo.jp/

4/12(日)は
練馬区長選挙の
投票日

投票時間は午前7時～午後8時
です。☎選挙管理委員会事務局
☎5984-1399



第39回

照姫まつり

4/26(日) 10:00～15:30
【会場】石神井公園とその周辺 小雨決行

照姫まつりは、練馬区の二大まつりの一つです。豪華絢爛な時代衣装に身を包んだ約100名の行列や舞台演技がまつりを盛り上げます。▶区担当:まつり係 問照姫まつり事務局☎050-3627-8907 FAX 050-3488-9223



照姫まつり HP



エックス (旧ツイッター)



Instagram

交通規制のお知らせなど
詳しくは
2面へ

開催状況の確認はこちら(自動応答サービス)

☎050-3085-3327 (4月25日(土)午後8時～26日(日)正午)

5階の窓から～退任のあいさつ



美濃部都政の福祉に憧れて東京都に入り、自ら希望して、児童福祉と障害者児福祉の現場で10年間働きました。当時の花形は保育所、私は女性が働くのは自然だと考えていましたから、産休明け保育や長時間保育の導入など積極的に取り組みました。一方で、かつては多くの被災孤児を育てた養護施設十数カ所を泊まり歩きまわした。すると愛情に飢えた子ども達が若く私に飛び付いて離れない。子どもには無条件で自分を愛してくれる人間が不可欠なのだ確信し、日本で初めて養子縁組を目的としない里親制度、養育家庭制度を創設しました。日本の障害者児行政は黎明期でした。私は、新しい課題であった重度重症障害児の発達支援に取り組みました。我が子の健康と成長を願うお母さん達の絶えぬような眼差し、何も出来ない自分の無力さと情けなさ、未だに記憶にこびり付いています。当然の事理ながら障害者児の皆さんもいわゆる健常者児と全く同じです。各々が身に備えた可能性の限界まで生き生きと人生を享受出来る環境を整えること。それが行政の役割だと信じています。

後に石原慎太郎知事の下では、周囲が止めるなか敢えて福祉局長を志願しました。「福祉を削減しなければ君を削減するぞ」と仰る知事を数々の現場に案内し、養育家庭制度の抜本的な充実、重度障害者グループホームの創設、大都市東京の需要に応えた認証保育所の創設など、様々な福祉施策を実現することが出来ました。忘れられない思い出です。

私は、一歩でも時代を進める事が、我々行政に携わる者の責務だと信じています。目先の人気取りではなく、後世の歴史の審判に堪えられる政策をこそ実現しなくてはならない。我々の足下には世界の全てがあり、今の瞬間が世界史の最前線なのです。

練馬区政は有難いことに、こうした私の人生の集大成となりました。若い日の問題意識を発展させた、全国自治体を先導する多数の練馬区モデルを構築し、区民の皆様から、この12年間で「区が発展した」「区役所が変わった」と声を頂いています。終の棲家を選んで愛するまち練馬の発展に些かなりとも貢献出来たとすれば、我が人生、これに勝る喜びはありません。

これは全て区民の皆様、区議会の皆様との共感、協働の賜物です。共に携わったお一人お一人のお顔は脳裏に刻まれ、終生消えることはありません。心から感謝申し上げます。

練馬区長 前川 耀男